

## 有限会社 美湾荘 環境行動計画

### 取組方針

(有)美湾荘は、当社のモットーである「もう一度訪れたい宿」を追求すると共に、能登地域の伝統と文化を活かした「能登らしい旅館」として、社会に貢献する企業を目指しています。

当社の事業活動を進めて行く中で、環境保全が重要課題の一つであることを確認し、地域環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。この為、私達は、事業活動に伴う環境への負荷を少なくする為に。以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ①事業活動の中の省エネルギー（電気・重油・ガス）及び省資源
- ②廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ③2A（安全・安心）5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）

この方針に基づいて社員一人一人が自主的に環境保全活動に取り組む為に、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 23 年 6 月 21 日  
有限会社 美湾荘  
代表取締役 社長 多田 計介

### 3 環境負荷の低減目標

24 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 22 年です。)

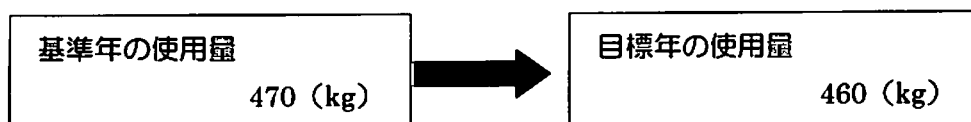
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 2%削減する



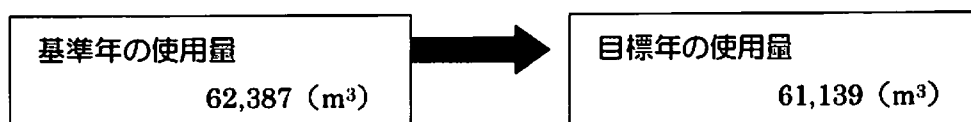
【目標 2】 廃棄物の削減とリサイクルの推進に努める。

当面は廃棄物の分別を徹底し、資源の有効活用とリサイクルの推進に努め、  
将来的には目標の数値化を図る

【目標 3】 コピー用紙の使用量を 2%削減する



【目標 4】 水使用量を 2%削減する



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(全館での取組)

- ①動力インバーター装置の設置により、モーター回転数を制御
- ②ハロゲンや白熱灯から電球型蛍光灯及びLED電球を導入し、照明器具の省エネを図る。
- ③省エネ運動の継続実施。
- ④宴会場・各レストラン・客室の温度を測り、空調気の設定温度管理を行う。
- ⑤使用していない電器器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑥お客様のいない時間は電気を付けない。

(事務所での取組)

- ①室内温度を適温に設定する。(参考：冷房 26 度と暖房 22 度を目安にする。)
- ②昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ③電球型蛍光灯を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ④温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ⑤使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑥カーテン、ブラインドを利用して冷暖房の効果を高める。

- ⑦エアコン使用機関中は、毎月1回フィルターを清掃する。
- ⑧昼休みの消灯、パソコン、コピー機の電源OFFを徹底する。

#### 【取組2】廃棄物の削減とリサイクルの推進

- ①廃棄物の分別を徹底し、資源の有効活用を図る。
- ②シュレッダーの使用は機密書類に限定し、紙のリサイクルに努める。
- ③詰替え可能な製品、リサイクルしやすい製品を優先的に購入、使用する。
- ④製品を出来るだけ長期間使用する。

#### 【取組3】コピー用紙の使用量の削減

- ①作成資料を印刷する際は、パソコンの画面上での確認を励行する。
- ②社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ③顧客情報等を含まない不要な文章、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ④コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定した状況を確認し、ミスコピーの削減に努める
- ⑤電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ⑥会議資料等の削減に努める（資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー）
- ⑦コピーをする場合、その必要性を十分考える。

#### 【取組4】水使用量の削減

- ①水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ②効率的な水の利用に取組む。
- ③節水に努める。
- ④器等を洗う時や、洗車をする時は、水を流しっぱなしにしないようにする。
- ⑤手洗い場に節水を呼び掛ける標語シールを掲示する。
- ⑥館内全部の蛇口等を見直し、節水に努める。
- ⑦冷凍商品の流水解凍を止め、自然解凍の徹底を図る。

### 5 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき、環境保全活動を効果的に実施するため、支配人（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。